

夫々葉書を以て該地に到着すべき時日を通知す。

七月三十日 旅順にて

發信一、大連の岡田氏外本校卒業生に宛て禮狀を出す。

二、旅順二〇三高地にありて少憩を利用し杉森金子兩先生と共に繪葉書に寄せ書きして内地の諸先生に送る。

八月二日 湯崗子にて

發信一、杉森、長野兩先生に禮狀。

八月三日 奉天にて

發信一、朝鮮總督府内教部長官、平壤高等普通學校長、京城高等普通學校長、釜山中學校長に夫々葉書を以て一行の到着すべき時日を通知す

遼陽小學校長鈴木氏に禮狀を出す。

八月六日 京城にて

發信一、奉天小學校の梅森先生に宛て禮狀を出

す。

二、くらすの友人に宛て繪葉書、十二枚。平壤高等普通學校長、平壤公立高等普通女學校長へ禮狀を出す。

八月七日 釜山にて

發信一、京城高等普通學校長、在京城本校卒業生諸氏に禮狀。

八月八日 下關にて

發信一 本校へ宛て電報をうち着廣の時間を報ず。

歸校後各地の先輩及び案内の勞を取られたる諸氏に對する禮狀は一切學校に依頼す。

第八 衛生部報告

嘗て本校は上海香港方面に旅行した例もあるがそれは冬季で比較的氣候のよい時であつた。然し今度の我等の旅行は七月と八月といふ極く氣候の悪い時に行はれた。夫に加ふるに今年は惡疫が猖

蹶して居て當局者も香港に上陸を禁じた位であつたから吾々の先づ氣遣つたのは健康の持續といふ點にあつた。暑い所でマラリヤとかペストとかに冒されたら最後などと心配もした。それでも一名の病人も出さず立派な成績を以て終了したのである、これは各員が如何に衛生に注意したかを示すと全時に相當に注意さへすればそんなに心配したものでないといふ事を實證するものである。次にのせる所は衛生部の分擔して來たほんのあらましである。

~~~~~\*~~~~~

七月十八日 校醫の身體検査を受く次いで學校長より熱帯衛生に關する注意を承り尙寮務課舎監室にて校醫より旅行中の衛生に關し講話を聞く、同日午後三時縣病院より左の藥品を受領す。

- 一 風引き熱さまし 粉藥 三十服
- 一 熱の藥(オコリ)の用意 粉藥 三十服
- 一 下劑藥 粉藥 三十服

- 一 下痢止の藥 粉藥 三十服
- 一 船酔豫防藥 粉藥 三十服
- 一 氣付け藥 水藥 一瓶
- 一 ヨードチンキ 水藥 一瓶
- 一 稀鹽酸 水藥 一瓶
- 一 ガーゼ
- 一 油 紙
- 一 繃 帶
- 一 卷軸帶
- 一 綿

各個人として用意したるものを舉ぐれば  
氷砂糖 仁丹 清心丹 キニーネ等なり  
衛生部は水筒拾貳個を寮務課より、旅行用鞆拾個を地歴部より借り受く

日射病の豫防として帽子の後部に重るゝ日覆を用意したれども實際その必要を感ぜざりき。  
七月二十日 乗船に際し門司にて夏蜜柑一壹圓四拾貳錢を求めたり。

門司より上海までの海上日中は波静かなりしも夜に入りて稍船の動搖を感じ一行中若干名船量にかかり用意の薬品を以つてこれを醫す。

我等が船室は極く下層にあれば薄暗く先づ不快の感を與ふ。我等の座する所は天井低く腰を九十度前方にまぐるにあらざれば皆の座する所を歩む能はず、少しく體を延ばさんとせば必ず頭を鐵板で打たるなり實に窮屈にして不衛生的も甚しといふべし。

加ふるに暑さ甚しく何人もかゝる所には得堪えざる様なりき。

されど甲板に出づれば全くこれと反し、眼界一點の煙鬚なく霧髻なく范々たる青海原を船は汽笛を鳴らしつゝ進むなれば強き日光を受け清き空氣を吸ひ且つ微風もありて快いはん方なし。

上海上陸以來百有餘度の熱氣のため渴を感じることも甚しく毎日の行動に水筒を必ず携帯するも而かも不足を感じ諸處の支那茶店にて綠茶を味ふ、

卒業生井上瀾氏よりサイダー五打バナナ及び林檎を多く寄贈せられたり、サイダーは時機に適し大に珍重せられたり、毎日の行動一刻の寸暇なく朝は五時に起床し夜は八時歸館。しかも各員格別の疲勞を認めず、これ平素の訓練の然らしむる所ならん。

七月二十八日 上海出發に際し、砂糖(二斤二十四錢)バナナ、林檎等を購ひ求む。

大連に向ふ海上不幸にも暴風に會し一行中一二の者を除きては凡て絶食する事前後四回。而かも緊張せる氣力はよくこの大打撃に堪え大連に上陸するや直ちに市内の見物をなす、電気公園を見終へて宿に歸りしは午後十一時になりき、翌朝早々にして大連を發して旅順に向ふ、停車場を出づるや直ちに諸砲臺の見學をなす、旅順にては杉森長野兩教授の懇切なる御指導を受けたる事は大に感謝する所なり、旅順見物を終へて湯崗子に至る、湯崗子は滿洲の有名なる三溫泉場の一にして吾等

は此處に數日の疲勞を洗除し得たるなり、遼陽効外にて瓜を試みたり極めて美味なれど危険多しといふ、奉天にて梅森氏の好意にて支那料理の饗應を受けたり。

歸途平壤京城釜山の各地には卒業生諸君の精神上物質上の厚意と親切なる指導との下に豫定の行動は大體に於て何等の故障なく遂行せられたり。

旅行中は各員其衛生に留意し上海に入りては上海人の言に従ひ滿洲に入りては滿洲人の風に従ひ朝鮮に入りては朝鮮の法に従ひかくて海陸無滞、一名の患者も出さず一行の元氣終始旺盛八月八日馬關に安着す。

## 上海及び南京衛生雜感

上海の市街は縣城(支那街)と居留地とより成り全人口百萬位ならんといふ支那街は黃浦江の西岸にありて市街狹隘にして不潔なり、居留地は縣城東北の郊外にあり。英米佛の三租界に分れ何れも街衢整然として宏壯なる建築物多く恰も歐米の繁華なる市街を見るが如し、日本人の住居する者米租界の虹口を最多とす我領事館及び郵船會社もこゝにあり、外國人居留地には衛生に關する施

設も能く行届き特に近年ペスト疫流行を見たりしにより防疫費の多額なる支出を惜まざりて捕鼠其他の方法を以て防疫に努めつゝあり又「マラリヤ」菌毒蚊の撲滅を計り溝渠の清潔法を行ひ藥品の撒布等を怠らず故に租界内の衛生状態は殆ど完全に近きものあり且清潔法に關する諸規則勵行せられ居るを以て各人の家屋周囲の如き汚物の堆積を見るが如きこと稀なり。途上ポンプを用ひて市街の敷石を洗ひ流し居るを見て實に氣持よく感じぬ、然れども一度租界境外に出づれば不潔汚穢甚敷き支那固有の状態を目撃するなり。

南京の城内は街幅狭く馬車人車等相會する時は實に困難を感じず。道は石を敷きあれども嘗て修繕を加へざれば一凸一凹頗る歩行に難む。不潔なる事は言語に絶し臭鼻を打ち一たび此地に足を入れれば再びするの勇氣なし斯く不潔汚穢のありたけを盡して流行病の傳播せざるこそ不思議なれと思へば決して然らず。コレラ赤痢の流行は珍らしからず只支那人市街に隠匿して世に知られざるまでと開きて尤の次第なりと思へり。南京の氣候は漢口の如く暑からず上海の如く濕氣なし最高温度は百一度最低温度十七度なり春季二度の雨季ありされど八月より二月までは實によき天氣なりと。夏時に於てコレラ流行し八十パーセントは死す。中西醫院(支那人及外國人經營)は毘盧寺に建てられ五十餘名の患者を容る

金陵醫院は石橋にありて米國宣教師の建設にかゝる八十名を收容すべし二名の西洋醫師從事す慈善的のものといふ。

吾等が上海に上陸したる日の如き暑氣甚しく百度を越えたり風も少くして屋内にても汗流る領事館員の語る所によれば彼が上海に任につきて以來四ヶ年なれど未だかくの如き暑氣を知らずと。

南京は日中風ありて暑さを感じる事甚しからず夜に入りて風全く止み蒸し暑く一般に椽側に出で、眠るといふ、吾等が行きし際は左程迄感ぜざりしは所謂三寒四温の間にてありしなればならん。

上海も南京も一般に雨量少し、飲料水は何れも多量の不純物を含みて用にする能はず上海には水道の設備あり南京にはなし、上海の水道の水にも微菌多ければ生水は一切危険なり一度熱せずんば飲まず支那人の不衛生を以てして死亡率少きは生水を絶體に飲まざるによる、されば支那市街を見て感じたるは町の一間に熱湯を備へ一般の飲用に供しある事なり。

町の塵埃は容赦なく風により吹き込まれたれども支那人は無頓着にて備へ付けの竹の杓子に直接口をつけ誰彼の差別なく飲み居るを見たり。

南滿洲

氣候 大陸的にして寒暑に酷烈温度少く風力強く十月霜降り十

氣象表 平均温度 (明治四十三年度)

| 觀測所 | 一月   | 二月   | 三月   | 四月   | 五月   | 六月   | 七月   | 八月   | 九月   | 十月   | 十一月 | 十二月 | 全年  |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|
| 旅順  | 15.5 | 15.9 | 19.9 | 23.2 | 24.8 | 25.1 | 25.7 | 23.9 | 19.5 | 14.7 | 5.2 | 3.5 | 9.7 |

| 平均  | 大連   | 營口   | 奉天   | 長春   |
|-----|------|------|------|------|
| 一月  | 11.1 | 13.3 | 16.1 | 18.8 |
| 二月  | 11.1 | 13.7 | 16.7 | 19.4 |
| 三月  | 11.1 | 15.7 | 18.7 | 21.4 |
| 四月  | 11.1 | 17.7 | 20.7 | 23.4 |
| 五月  | 16.0 | 18.5 | 21.5 | 24.1 |
| 六月  | 20.1 | 21.6 | 24.6 | 27.2 |
| 七月  | 23.3 | 24.7 | 27.7 | 30.3 |
| 八月  | 24.8 | 26.1 | 29.1 | 31.8 |
| 九月  | 19.7 | 21.4 | 24.4 | 27.4 |
| 十月  | 14.7 | 17.3 | 20.3 | 23.3 |
| 十一月 | 4.7  | 7.3  | 10.3 | 13.3 |
| 十二月 | 1.0  | 3.7  | 6.7  | 9.7  |
| 全年  | 13.0 | 15.5 | 18.5 | 21.5 |

最高及最低温度表

| 地名 | 最高   | 月次 | 最低   | 月次  |
|----|------|----|------|-----|
| 旅順 | 34.0 | 七月 | 17.6 | 十二月 |
| 大連 | 32.0 | 七月 | 17.1 | 十二月 |
| 營口 | 34.6 | 七月 | 24.0 | 一月  |
| 奉天 | 35.8 | 七月 | 30.5 | 一月  |
| 長春 | 36.6 | 七月 | 33.3 | 一月  |

及九の三ヶ月最も標準に近し。  
二、気温 大連の累年平均気温は十度三分にして秋田と全く等しきも四季に分ちて見る時は冬季に於て十五乃至十六度秋田より低く夏季は東京と伯仲の間にあり日々気温較差は平均七度六分にして長崎臺北と相近く較差の大なるは春秋雨季を最とし冬夏之に次ぎ、夏期最少し、要するに平均は秋田と等しく夏季は東京冬期は札幌と略匹敵し較差は著しく大ならず。

各地気温平均較差

大連 六、六 旅順 七、五 札幌 九、七 秋田 八、三 加茂 六、七 東京 八、三 長崎 七、七 臺北 七、七

氣象水質土民の生活狀態等は其土地が健康に適するや否やを決定すべき重要な要素なり衛生上より滿洲を論ぜんとするに當りても亦天然人事の兩方面に亘りて仔細にこれを研究する必要あり此種の精細なる研究は斯道の専門家すら尙難しとする所なれば門外漢たる我等が濫りに斷定を下さんとするは全く無益の業なり。大連病院の某博士が土地を大連に限りて氣壓、氣温、氣濕、氣顯、風、日照時數の五項に就き大連旅順札幌秋田加茂東京長崎臺北の八箇所に於ける觀測と比較したり。

一、氣壓 大連の全一ヶ年平均氣壓は七六二、一耗にして標準氣壓より少しく高し概して冬季に高く夏季に下降し四、五、

三、降水及氣濕 大連の降水量は甚少く平均一年量五五三、耗にして札幌の半、東京の殆んど三分一に過ぎず隨て空氣も亦乾燥し累年平均比濕六六%最多きは七月の雨期にして百二十二耗内外、冬期之に亞ぎ春秋期最も少し而して一年を通じて最少は五七—五八%を下らず最多も八四%内外にして臺北の平均比濕と略相均し即ち大連は乾ならず又濕ならず適度の濕氣を有せり。

大陸修學旅行記

各地最高最低及平均比濕

| 地名 | 大連     | 旅順     | 順天     | 札幌     | 秋田     | 加茂     | 東京     | 長崎     | 台北     |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 最多 | 五七(三月) | 六一(二月) | 七一(三月) | 七三(三月) | 八四(九月) | 七二(二月) | 六一(二月) | 六三(八月) | 七三(三月) |
| 最少 | 八四(七月) | 九二(七月) | 八四(七月) | 八四(八月) | 八四(九月) | 八五(八月) | 八三(六月) | 八五(六月) | 八六(三月) |
| 平均 | 六六     | 七三     | 七八     | 七八     | 七八     | 七八     | 七三     | 七二     | 八一     |

降水量 (耗)

| 觀測所 | 一月  | 二月  | 三月  | 四月   | 五月   | 六月    | 七月   | 八月    | 九月   | 十月   | 十一月  | 十二月  | 全年    |
|-----|-----|-----|-----|------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|
| 旅順  | 三八  | 〇、〇 | 九、五 | 〇、八  | 五六、七 | 六七、〇  | 六四、〇 | 五七、四  | 一五、六 | 二六、一 | 三八、一 | 三〇、〇 | 三四二、六 |
| 大連  | 八、八 | 〇、二 | 一、六 | 三、六  | 三三、八 | 四九、〇  | 九七、〇 | 五七、四  | 一一、〇 | 二七、〇 | 六四、二 | 三〇、〇 | 三六七、五 |
| 營口  | 〇、三 | 二、〇 | 七、五 | 一、六  | 三〇、四 | 七二、〇  | 八七、六 | 一一、〇  | 五五、四 | 九、二  | 〇、〇  | 〇、〇  | 五三六、〇 |
| 奉天  | 四、二 | 二、七 | 一、五 | 五、一  | 二二、八 | 二二、八  | 八九、六 | 一一、六  | 四〇、四 | 五五、七 | 八、二  | 二、〇  | 五五七、二 |
| 長春  | 七、五 | 三、二 | 四、七 | 一四、〇 | 六五、二 | 一〇五、五 | 二九、二 | 一〇五、九 | 五、四  | 三三、二 | 一三、〇 | 二、五  | 七四一、三 |

四、風 風は甚多く殊に秋より冬期及春季を通じて最多し累年平均一ヶ月中に十六日暴風を觀測し風速平均一秒時六、三米なり、風向は十一月より翌年三月迄は西北風四月は西南風五月より八月までは東南風九月は西南風十月は西風多くなると平均風位は西風なり。

各地平均風速

大連六、三 旅順四、六 札幌四、九 秋田六、三

加茂五、三 東京三、八 長崎五、一 臺北四、八  
五、日照時數 大連は天氣晴朗の日多く一年平均の日照時數は晝間時間の六二%に達せり。就中最少なるは七月(雨期)の四七%にして二月七二%十月六九%三月六五%他は六〇乃至六三%を示せり東京の平均四八%は大連の最少と等しく札幌の七三%は大連の平均の二分一に過ぎず。  
以上五項の事實を合綜するに大連は天氣晴朗にして降雨少く空

氣乾燥し概して之を健康地とするを得べし但、風多く往々颶風烈風の襲來するあり寒暑共に酷烈なるを缺點とすれど寒氣及び強風は家屋被服の制を改良して或程度まで之を防ぐを得べく人力を以つて如何とし難き日照降水氣濕の三點に於て優良の状態を占むる事は在住者の幸福とする所なり。

尙雪霰雹電雷濃霧霜等のありし日數を附記せば次の如し。

|    | 旅順 | 大連 | 營口 | 奉天  | 長春  |
|----|----|----|----|-----|-----|
| 雪  | 二二 | 二六 | 二八 | 二七  | 四四  |
| 霰  | 二  | 五  | 一  | 一   | 二   |
| 電  | 一  | 二  | 一  | 四   | 一   |
| 雹  | 一  | 二  | 一  | 三   | 二   |
| 濃霧 | 一八 | 九  | 一六 | 三一  | 二〇  |
| 霜  | 四六 | 五八 | 八〇 | 一一三 | 一〇二 |

滿洲の疾病

冬期中最も流行するは呼吸器病及び纖維質病なりとす、肺結核は貧困者殊に若き婦人中に多く其死亡額も亦從ふて少なからず、貧血病は最も普通流布しつゝあり、手足等の凍傷は輕重種々あれど貧困者は之が爲め不治の疾病を招き死亡する者あり、春期近くに至れば急激に氣候の變化を來たし身體機關の動作滯澁を缺き消化の不良を來たし、爲めに食慾進まず隨て身體に幾分の健康を弱むるに至る最も注意すべき時なり、尙ほ春期眼病患者の多きは常

に烈風砂塵を捲き散らし、之が眼中に入るに原因す。夏は常に大氣乾燥し居るも又屢々驟雨を來すことありて此時分は各種の下痢症即ち虎列刺赤痢等に罹り易く、例年此が爲め死亡するもの甚だ多きを以て飲食物飲料水等に最も注意を拂はざるべからず近來に至りマラリヤ病も亦奉天附近に根着し時々流行を來たすことあり。  
冬季寒烈の時期に於て適當なる防寒の準備なくして寒氣にあふ時は凍傷を來す事あり直ちに手術せざる時は局部は遂に腐蝕切斷の止むなきに至るといふ、嚴寒の時期に於て午後入浴をなし僅かに數丁に足らざる道を過ぎて歸宅せば入湯に用ひし手扱は氷結し堅硬なる搦状をなし少しも屈曲する事なし婦人の頭髮も然り、冬季汽車の乗降に際し列車の鐵製ハンドル等を手套を用ひずして握る時は直ちに氷着きて之を引き放つ時は皮膚を損傷すと、夏時に於ける日光の直射熱の激烈なるを感ずる事甚し思ふに一般空氣乾燥甚しく濕氣を含有する事少きによるならん日中花園に給水する時は幼弱なるものは直ちに枯死する事日本内地に於けるよりも甚し。  
傳染病 大連は四通八達の街なるが故に動もすれば傳染病の襲撃を受くる事あるを免れず。  
殊に下等支那勞動者の居住するもの多きを以つて之が豫防には深き注意と努力とを要す。

四十四年中的傳染病患者數左の如し。

| 病名    | 患者  |     | 死亡者 |     |
|-------|-----|-----|-----|-----|
|       | 日本人 | 支那人 | 日本人 | 支那人 |
| 虎列刺   | 五   | 二四五 | 二〇三 | 二〇七 |
| 赤痢    | 三三  | 二七  | 六   | 九   |
| 痘瘡    | 一   | 一   | 一   | 一   |
| 腸室扶斯  | 五   | 一〇  | 一   | 一   |
| 實布坪利亞 | 六   | 一六  | 一   | 一   |
| 猩紅熱   | 七   | 一四  | 一   | 一   |
| 疹發室   | 一   | 一   | 一   | 一   |
| バラチブス | 二五  | 一七  | 一   | 一   |
| ベスト   | 一   | 一   | 一   | 一   |
| 計     | 六六  | 三三三 | 二一  | 二二  |

支那人の家

滿洲人の住宅は上海南京にて見たると全しく富豪はさまでにあらざるも中流以下になりては彼等は不潔を知らず従つて洗掃等をなせし事なく塵煤屋に滿つ。一度頭を入れんか鴉片蒸葉等の惡臭交々鼻をつき潔癖性の邦人より見れば實に驚くの外なし加ふるに空氣の流通光線の透徹共に惡しく自然陰暗なり。

苦力の如き下等なるものは地面より三尺位の屋根を造り其上に高粱葉を以て蔽ひ泥土を以て塗り地下に深き五尺幅二間長三間位の穴窟を作り中央に通りの小路をはさみ其左右に着のみ着のまゝ獸類の横臥に異ならず概して一土屋に廿四五人を入れる事を得これ

屋内に與へたる後、屋後の烟筒を出でしむる装置にして極寒の際には終日終夜烟を通ずといふ。

平均温度の最も低きは二月にして釜山は攝氏二度仁川は氷點下三度五、京城は全三度六、元山は全四度一なれば釜山は我伏木の氣温に近似し仁川京城元山は北海道の壽都乃至札幌附近に相當す又最温の月は八月にして其平均温度を見るに釜山は廿四度八、仁川は二十四度一、京城は二十七度、元山は二十三度二なり。之を我國に對比すれば釜山は茅ヶ崎に仁川は宇都宮に京城は多度津に元山は水澤に近似す即ち朝鮮の氣温は冬は南北に於て著し懸隔あれども夏は其の差少なし。國の東西兩岸に於ける氣温の差は冬に於て甚しく冬は東岸却つて西岸よりも稍温暖なり之西海岸を洗へる黄河は水底淺くして其水域は時季によりて急に暖熱となり又急に寒冷となるを以つて一年の氣候調和の勢力少きに反し東海岸に臨める海水は海底深くして廣く寒威を軽減調和する潛勢力に富めばなり。

氣候風の影響を蒙むる事我國と全しく冬季は北乃至西北風を受けて空氣乾燥すと雖も夏季は東乃至西南の濕潤なる氣流を受けて雲霧多く近海濃霧に襲はれて航海に困難を感ずること珍らしからず。

雨量 は我邦に比すれば遙かに少く殊に冬季に於て然りとす。雨期は地方によつて遅速あり三南地方は四月より七月に亘り關西

我國が穴居時代もかくやと想像させるものなり。

附記

滿洲に住む人の言によれば大陸的氣候の特色として三寒四温といふ事ありて極寒の際も極暑の際も凌ぎ易きなりと、即ち三日寒き日續けば温き日四日續き又四日熱き日續けば必ず三日涼しき日續くといふ事なり。

朝鮮

氣候 朝鮮は全部北温帶中に屬し其緯度を本邦内地に移せば南端は佐世保、佐賀附近に當り北端は北海道小樽、札幌附近に相當す、且つ三面海を繞らざるを以て其氣候は我國と大差なかるべき筈なるに、事實は之に反して純然たる大陸性の氣候を有し暖流の影響によつて氣候の温和なるは三南地方の沿海一部に過ぎず、畢竟アジア大陸に接觸して、大限の氣候影響の甚大なるが爲なり、即ち朝鮮の氣候は一般に大陸的にして寒暑の懸隔甚しく夏は炎暑酷烈にして三南地方に於ては室内の洋燭炎熱の爲めに熔けて彎曲することあり。冬は寒威甚しく漢江以北の河川悉く結氷して人馬其の上を來往すべく鴨綠江の如きは結氷四ヶ月に亘り(十一月下旬より中旬にいたるまで)漢江亦約三箇月の結氷期を有す。されば韓人家屋は冬の寒氣を防ぐを主とし泥土、石片を交互に積んで四壁となし以て寒氣の浸入を防ぎ室内の温度を高からしむるため温突の設けあり。温突とは竈の炊烟を導きて床下を巡らしめ暖を

地方は七八月に跨り關北地方は七月より九月に至る雨量の分布は南岸及東岸に多く西岸は少し。釜山の降水の降水量は一四四三耗二、元山は一五五七耗四にして宇都宮の雨量(一五六三耗四)に近く京城は九四六耗四にして十勝の雨量(九三八耗)に近し仁川は九百七十六耗なり。

以上を要するに朝鮮の氣候は

- 一、三南地方の沿岸以外は大陸的の氣候なり。
- 二、他の同緯度地に比して氣温一般に低し。
- 三、氣温最も高きは八月にして最も低きは二月なり。
- 四、夏の氣温は南地に於て著しき差なれども冬は大差あり。
- 五、東岸は西岸よりも氣候温和なり。
- 六、冬は北又は西北の乾燥せる氣流を受けて雨量少く夏は東乃至西南の濕潤なる季候風を受けて雨量多く近海濃霧の虞あり。
- 七、我國の同緯度地に比して雨量遙に少なく北海道の雨量に近似す。

(北垣氏「樺太朝鮮滿洲」)

以上略叙したる諸種の統計表及び報告は我一行が旅程に上るに先ち各方面の著書報告統計書よりして輯集したるものにして、後日再び斯る企を爲す人々の參考ともならんかと此に載せたるものなり、叙述の統一なきが如きは深く咎め給ふ勿れ。



(B) 日々實支出表

| 要目 |          | 金額    | 要目       |          | 金額   |         |
|----|----------|-------|----------|----------|------|---------|
| 5  | 預備金<br>計 | 55.00 | 7月       | 18日      | 1.00 |         |
|    |          | 總計    | 746.46   | 7月       | 19日  | 13.09   |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 1.00    |
|    |          |       |          | 7月       | 19日  | 05.05   |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 1.10    |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 1.10    |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 2.00    |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 1.00    |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 1.00    |
|    |          |       |          | 7月       | 20日  | 78.43   |
|    |          |       |          | 7月       | 22日  | 2.00    |
|    |          |       |          | 7月       | 23日  | \$ 4.49 |
|    | 7月       |       | 24日      | \$ 81.81 |      |         |
|    | 7月       | 21日   | \$ 70.80 |          |      |         |
|    | 7月       | 24日   | \$ 2.40  |          |      |         |
|    | 7月       | 25日   | \$ 50.43 |          |      |         |
|    | 7月       | 25日   | \$ 21.00 |          |      |         |
|    | 7月       | 26日   | \$ 7.20  |          |      |         |
|    | 7月       | 26日   | \$ 16.00 |          |      |         |
|    | 7月       | 26日   | \$ 9.30  |          |      |         |

| 要目 |      | 金額       |
|----|------|----------|
| 代貨 | 砂至門司 | 1.00     |
| 代貨 | 自字品石 | 13.09    |
| 代貨 | 大門司  | 1.00     |
| 代貨 | み司   | 05.05    |
| 代貨 | 仁丹   | 1.10     |
| 代貨 | 辨當   | 1.10     |
| 代貨 | 門司   | 2.00     |
| 代貨 | 自電電電 | 1.00     |
| 代貨 | 自電電電 | 78.43    |
| 代貨 | 門報   | 2.00     |
| 代貨 | 自電電電 | \$ 4.49  |
| 代貨 | 茶店   | \$ 81.81 |
| 代貨 | 電車   | \$ 70.80 |
| 代貨 | 名繪   | \$ 2.40  |
| 代貨 | 自上海  | \$ 50.43 |
| 代貨 | 南京   | \$ 21.00 |
| 代貨 | 京馬   | \$ 7.20  |
| 代貨 | 南京   | \$ 16.00 |
| 代貨 | 南京   | \$ 9.30  |

| 要目 |     | 金額        | 要目 |     | 金額    |
|----|-----|-----------|----|-----|-------|
| 7月 | 26日 | \$ 6.00   | 7月 | 31日 | 5.63  |
| 7月 | 26日 | \$ 9.90   | 7月 | 31日 | 4.00  |
| 7月 | 27日 | \$ 28.80  | 7月 | 1日  | 5.52  |
| 7月 | 27日 | \$ 13.10  | 7月 | 1日  | 90.82 |
| 7月 | 27日 | \$ 2.10   | 7月 | 1日  | 3.60  |
| 7月 | 27日 | \$ 108.00 | 7月 | 1日  | 12.00 |
| 7月 | 27日 | \$ 96.00  | 7月 | 2日  | 90.90 |
| 7月 | 27日 | \$ 7.75   | 7月 | 2日  | 2.10  |
| 7月 | 27日 | \$ 15.00  | 7月 | 3日  | 2.00  |
| 7月 | 27日 | \$ 7.71   | 7月 | 3日  | 18.00 |
| 7月 | 27日 | \$ 5.00   | 7月 | 3日  | 2.20  |
| 7月 | 27日 | \$ 1.50   | 7月 | 3日  | 1.10  |
| 7月 | 29日 | \$ 1.25   | 7月 | 4日  | 2.00  |
| 7月 | 29日 | \$ 12.00  | 7月 | 4日  | 72.00 |
| 7月 | 30日 | \$ 4.34   | 7月 | 4日  | 41.41 |
| 7月 | 30日 | \$ 2.40   | 7月 | 4日  | 30.30 |
| 7月 | 30日 | \$ 45.45  | 7月 | 5日  | 1.00  |
| 7月 | 30日 | \$ 20.20  | 7月 | 5日  | 12.00 |
| 7月 | 30日 | \$ 1.20   | 7月 | 5日  | 7.20  |
| 7月 | 30日 | \$ 10.20  | 7月 | 5日  | 60.60 |
| 7月 | 31日 | \$ 20.20  | 7月 | 5日  | 2.00  |

(C) 實支出分類表

| 月日    | 要目  | 金額  | 金額 |    |
|-------|-----|-----|----|----|
|       |     |     | 金  | 額  |
| 8 6   | 北京城 | 12  | 00 | 00 |
| 6 6   | 北京城 | 7   | 10 | 10 |
| 6 6   | 北京城 | 1   | 90 | 90 |
| 6 6   | 北京城 | 1   | 60 | 60 |
| 7 7   | 北京城 | 9   | 15 | 15 |
| 7 7   | 北京城 | 1   | 26 | 26 |
| 7 7   | 北京城 | 9   | 10 | 10 |
| 7 7   | 北京城 | 1   | 90 | 90 |
| 7 7   | 北京城 | 1   | 20 | 20 |
| 7 7   | 北京城 | 1   | 25 | 25 |
| 7 7   | 北京城 | 8   | 60 | 60 |
| 7 7   | 北京城 | 1   | 73 | 73 |
| 8 30  | 北京城 | 7   | 39 | 39 |
| 10 10 | 北京城 | 00  | 00 | 00 |
| 10 10 | 北京城 | 7   | 56 | 56 |
| 10 10 | 北京城 | 767 |    |    |
| 總計    |     |     |    |    |

| 要目 | 金額  | 金額 |    |
|----|-----|----|----|
|    |     | 金  | 額  |
| 汽船 | 13  | 90 | 90 |
| 貨物 | 78  | 43 | 69 |
| 汽船 | 92  | 69 | 69 |
| 貨物 | 184 | 21 | 21 |
| 汽船 | 47  | 40 | 40 |
| 貨物 | 2   | 40 | 40 |
| 汽船 | 27  | 82 | 72 |
| 貨物 | 135 | 41 | 41 |
| 汽船 | 214 | 26 | 26 |
| 貨物 | 2   | 00 | 00 |
| 汽船 | 8   | 60 | 73 |
| 貨物 | 1   | 25 | 39 |
| 汽船 | 1   | 39 | 55 |
| 貨物 | 7   | 55 | 55 |
| 汽船 | 19  | 52 | 52 |
| 貨物 | 767 |    |    |
| 總計 |     |    |    |

| 要目 | 金額  | 金額 |    |
|----|-----|----|----|
|    |     | 金  | 額  |
| 汽湯 | 3   | 60 | 60 |
| 湯  | 12  | 00 | 00 |
| 湯  | 18  | 00 | 00 |
| 湯  | 1   | 20 | 20 |
| 湯  | 12  | 00 | 00 |
| 湯  | 7   | 20 | 20 |
| 湯  | 12  | 00 | 00 |
| 湯  | 7   | 10 | 10 |
| 湯  | 9   | 10 | 10 |
| 湯  | 34  | 27 | 27 |
| 湯  | 256 | 33 | 33 |
| 湯  | 38  | 40 | 40 |
| 湯  | 5   | 35 | 35 |
| 湯  | 3   | 90 | 90 |
| 湯  | 1   | 10 | 10 |
| 湯  | 1   | 22 | 22 |
| 湯  | 2   | 34 | 34 |
| 湯  | 14  | 20 | 20 |
| 湯  | 26  | 98 | 98 |
| 湯  | 93  | 49 | 49 |
| 總計 |     |    |    |

| 要目 | 金額  | 金額 |    |
|----|-----|----|----|
|    |     | 金  | 額  |
| 汽湯 | 8   | 60 | 60 |
| 湯  | 1   | 73 | 73 |
| 湯  | 1   | 25 | 25 |
| 湯  | 1   | 39 | 39 |
| 湯  | 7   | 55 | 55 |
| 湯  | 19  | 52 | 52 |
| 湯  | 767 |    |    |
| 總計 |     |    |    |



(丙) 收支決算表

| 要目                 |     | 金額    | 額 |
|--------------------|-----|-------|---|
| <b>(甲) 収入之部</b>    |     |       |   |
| 1. 生徒平均            | 895 | 14    |   |
| (一人平均)             | 81  | (38期) |   |
| 2. 教官平均            | 70  | 00    |   |
| 計                  | 965 | 14    |   |
| <b>(乙) 支出之部</b>    |     |       |   |
| <b>A 豫定之部</b>      |     |       |   |
| 1. 生徒平均            | 746 | 46    |   |
| (一人平均)             | 67  | (86)  |   |
| 計                  | 746 | 46    |   |
| <b>B 實支出之部</b>     |     |       |   |
| 1. 生徒平均            | 697 | 56    |   |
| (一人平均)             | 63  | (42期) |   |
| 2. 教官平均            | 70  | 00    |   |
| 計                  | 767 | 56    |   |
| <b>(丙) 收支決算之部</b>  |     |       |   |
| 1. 差引              | 197 | 58    |   |
| (一人平均)             | 17  | (96期) |   |
| 2. 徴集金             | 132 | 42    |   |
| 計                  | 330 | 00    |   |
| <b>(丁) 某氏=返済之部</b> |     |       |   |
|                    | 330 | 00    |   |
|                    | 330 | 00    |   |

諸表の説明

以上によりて會計の大體を明にするを得たりと信ずるものなるがなほ二三言ふ可きことあり。我等の一行は生徒十一名と教官一名とより成る一隊なるが其の初めに於ては兩者の會計は全く別々なりしなり、然るに旅行の中途よりして其の必要と便宜とより兩會計を合同するのやむなきにいたり教官より七拾圓を預りこれに生徒の總費用八百九拾五圓拾四錢を加へて都合九百六拾五圓拾四錢即約一千圓を以てこの大旅行の費途に充てたるなり、故に以上の表に於て支出豫定表は生徒十一名の割合を以て記載せられたれども實支出表の一部には兩者の混同あるを以て或は十一名分となり或は十二名分となる所あるもやむを得ざるなり。生徒の費用は既記豫定表に基き費用金額を大體七百五拾圓(一人宛約六拾八圓)と見積りこれに幾分の餘裕を存し置くを必要とし約百五拾圓を加へ

て八百九拾餘圓と定めたるものなり、而して其の費用に關する詳細は表によりて略これを知ることを得べしと雖もなほ了解を助けんが爲めに以上の表につき少しく説明を加ふる所あらんとす。

甲 收入之部

1. 貯蓄金 これは大旅行の原動力たる多額の費用を一時に支出するの困難を避けんが爲めに企圖の初めより毎月壹圓乃至貳圓五拾錢宛を貯蓄せるものなり、かくして積みし金額は一人宛約貳拾圓に達しこれに學校よりの補給金と某氏よりの貸與金とを加へて優に出費を満たすを得て旅行出發の際若くは旅行中に於て私用を外にして壹錢の支出をも要せざりしは一行に取りて何よりの都合なりき、なほこの貯蓄に關しては庶務部の報告中にも述べたれば此處には贅せず。

2. 徴集金 これは英語部外の二名の出費にし

て内一名は五十圓(某氏より三十圓を借りざりし爲め)他は二十圓宛を出したるものにて即英語部の貯蓄金に相當す。

3. 學校よりの補給金 一人宛二十圓の割合なり。  
4. 庶費として學校よりの補給金 これは學校を代表する旅行隊に宛て、給せられたるものにして前者とは稍其の性質を異にするものなり、即學校を代表して諸種の行動をなす際に要する費用等に充つるものなり。  
5. 某氏よりの貸與金 これは某氏が我等の此の舉に對する實行を容易ならしめんとて九月中に返済するの約束にて特に貸與せられたるものにしてこれによりて得たる我等の便宜は實に多大なりと言はざる可らず、我等の此の大なる企に對する計畫と實行との比較的容易に運び行きしは一にこれによれるものなり、會計係としては最も謝意を深

うする所なり。

(乙) 支出之部

豫定表は日程の示す所に従つて能ふ限りに於て精密に立案せるものなるがこれを實支出表に比較すれば其の間に大なる相違あるを見る、然れどもかゝる相違は此の類のものには常に有り勝ちの事にして殊に事情の甚だしく懸隔し經驗聞知の乏しき海外に向つての旅行に於ては到底やむを得ざることを言はざる可らず、然れども終局の決算に於て彼と是との差の比較的小にして而かも幾分ながら豫定よりも少額を以てせしことは此の旅行に於ける成功の一に數へらる可きものなり、なほこれ等につき明瞭を得んが爲めに曩の豫定表と實支出分類とを比較して二三述ぶる所あらん、此處に注意すべきは兩表の標準の幾分相違することにして前にも言へる如く豫定表は十一人分を以て計上せるものなれども實支出表に

は一部分即汽船賃の全部と汽車賃の自新義州至各郷里の目を除きては概して十二人分と見るべきことはなり。

1. 汽船賃 この中上海大連間の汽船賃に於て實支出に五圓計りの多額を示せるは教官の分約二十圓の加入せるを以てなり、これを差引きて相比較せば生徒の分は八十八弗即七十五圓餘にして十三圓計の減額となる、是れ豫算組立の際一弗を一圓と見積りし爲めに生じたる差額なり、
2. 汽車賃 これは實支出に於て豫定の約二倍額を示せり、是主として豫定の變更によるものにして其の重なるものは南京より上海への歸路を汽船と定め置きしを汽車にかへ滿鐵乗車券の三等を二等にかへ馬關より各郷地までの汽車賃の各自々辨なりしを會計にて辨じたりしが如き是なり、此處に附記すべきは滿洲鐵道の八割

引朝鮮鐵道の五割引なりしことにして此が爲めに得たる費用の節減は實に多大なりき。

の御厚意を併せて此處に謝意を表す。

3. 宿料辨當及茶代 此處約六十圓計の差額あるは其原因主として南清地方の貨幣相場に我に利ありしによる、而して豫定に於ては茶代なるものを一切計上せざりしも實際に於て二十四圓餘の支出あり、然に上海に於て西洋旅館宿泊をやめし爲め約三十三圓の出額を減じたり、なほ各地の宿泊料の我等が先輩卒業生の盡力によりて比較的低廉なるを得しは會計係の喜びに堪へざりし所なり。

4. 雜費 これは其の性質上豫定と實際との一致を見ること難きものにして只終局の差額に大なるものなくんば幸なりとせざる可らず、而して我等の此の場合を見るに豫定に於ける雜費の五十九圓と豫備の五十五圓とを合し實支出の旅行中の雜費九十三圓と旅行後の雜費十九圓とを差引く時は僅かに二圓の差あるのみ、元より兩者の費目には大なる相違あるも金額に於て大體兩々相一致せるは先づ以て可とすべきが如し。

此處に特に記すべきは旅順に於ける費用の非常に少なりしことなり、是舊師杉森先生の多大の斡旋により二科學堂宿泊の便を得しによるものにして一行の旅順滞在中先生より受けたる此の他の多く

旅行中雜費の最大多額は馬車電車賃なり、これは最初立案の際は何等の必要を認めざりしが旅行の實際に於て暑氣の酷烈と多方面の視察の要求よりして殆んど贅澤と思はるゝ位までも利用したるものなり、其他寫真代通信料及目に見えざる

### 會計係所感

#### 一 支那の貨幣制度につきて

諸費の此の雜費の名の下に集まるもの甚だ多かりしが一方西洋劇の興行中止なりし爲め幸か不幸か五十五圓の節減をなすを得て容易に調節を取るを得たるなり。

5. 旅行後の諸雜費 此の中最も苦しかりしは藥代と送物代となり、前者は學校より支給の豫定にして後者は少くも半額以下校より支給せらる可しとの豫定なりしに二つながら全く豫期に反して我會計の負擔に歸しぬ、元よりこれ等は其の初めに於ける交渉の不十分なるの致す所なればかゝる豫定は全然會計係の失策と言はざる可らず。

#### (丙) 收支決算表

これは諸表を概括して會計の大體を一目瞭然たらしめん爲めに特に作製せるものなり、其の説明は不要なりと認めて此處に略す。

支那の貨幣制度は甚だ錯雜して居る、我々初經驗のものには實に厄介千萬である、貨幣は大體一弗(銀貨で大洋と呼んで居る)と二角及一角(銀貨で小洋と呼んで居る)と一仙(銀貨で銅幣と呼んで居る)とであるが其の間の價值關係は十進數を以て進まないで一弗は小洋にて十一角半位一角は銅貨にて十二仙位である。

又同じ一弗の銀貨と言つても幾通りもあつて其種類によつて流通區域が定まつて居るようである。例へば南京で使用するのは上海では通用しないといつた風である。これについて僕等の失敗談を話せばこうである、南京見物を終つて將に上海に向つて歸らうとする刹那であつた、宿を出る時主人に頼んで三十圓計りを兩替してもらつて幾枚かの紙幣と二十枚ばかりの一弗銀貨を受け取つ

て停車場へ行つた、そして南京城内の汽車で其中の二枚を使つたが無難だつた、然るに僅かに南京をはなれること一步の處で上海行の切符を買ふ可く其の大部分を出して見るとこは如何に「此の鐵道局内では鷹印のでなければ通用せぬ」として悉くはねつけられてしまつた、さあ大變だ、汽車は煙を吐いて今にも出ようとして居る。心はせくが如何することも出来ぬ、僕等は一時茫然自失の態だつた、が幸にして見送りの領事館員の一人があれこれと交渉してくれた爲め一弗につき五仙の割引を以て使用を許してくれたのでやつとまあ助かつたのであつた、併しこうなると殘餘の金が怖い上海へ持つて行つてまたどうなるか知れぬ金だ、まさか棄てる譯にも行かぬので其儘持つて來たが幾分の割引は勿論餘儀なくせられたけれどもそれで悉皆通用したのは何よりうれしかつた。

また小洋以下の補助貨幣には使用範圍に甚だしい制限があるようである、鐵道局などでは一切こ

れが使用を許さぬのである、弗以下の金額は矢張り一弗を出して釣錢をもらうといふ風である、上海の日本郵便局などでも三十仙以上は大洋を以て支拂はなければならぬ現定になつて居るようだ。

電車は一區につき一仙だがそれには凡て銅貨を用ひるのである、僕等のように團體で多數乗り込む時にでも矢張り銅貨を以てしなければならぬのである、總計二弗三弗といふ多額になつても矢つ張銅貨で拂ふのである、それは何故かといふと一弗銀貨は兩替で銅貨百三十枚一角は銅十二枚を得るのであるが電車内では一弗は百仙一角は十仙と見てしまふからである會計係としての僕が上海でなめた最も苦しい經驗の一つはこの電車貨の支拂であつた、いつも重いズタ袋をぶら下げて暑い市中を歩きまわらなければならず電車の中では衆人雜踏の眞正中で一錢二錢と數へねばならぬ、其の勘定の面倒臭いことと言つたら實に甚だしい使用に慣れないものにはとても咄嗟の場合に容易に

間に逢ふものでない、けれども支那人のそれを取扱つて居るのを見ると一度に五枚宛右の手から左の掌にポツ／＼と移し行く所は實に神妙なものである。

## 二 贋造貨幣

支那には贋金が多いとは豫てから聞いて居た、そして會計係としての僕は最もこれに恐れを抱いて居たのである、併し幸にして上海南京滯在中は信用ある宿の主人に兩替などのことは一切任せることが出来たので案外樂であつた。

實際贋金は随分澤山流通して居るようだ、而かも大洋の一弗銀貨に最も其割合が多いといふのだからたまらぬじやないか、これが判別は左程六ヶ敷くもないようだがそれでも相當の技量を要するのである、若し經驗に乏しい我々外人が兩替屋へでも行かよものならきつと贋金の四つや五つ位握らせられるにきまつて居る、其の判別法は一々板上に投げつけて其の音によつて判斷するのである

が兩替屋でも商店でも金の受け渡しの際は相手の面前をかまわず凡てこの方法で先づ眞贋を正して然る後受け取るのである、我々から見れば何だか相手を侮辱した仕打のように感ぜられるが此の地方に於てはこれが普通なのである。

## 三 支那人と金銭

支那人の終局の目的は金をためることである。と言へば何だか彼等を侮辱したようであるが實際に於て支那人の大部分はこの金を得んが爲めには如何なる手段をも敢てするのである。思慮の浅い目先ばかりを見る者どもは物を偽り人を瞞かして小利を得ようとするが遠き慮をなすものは眼前の利に迷ふことなくよく大局を見とゞけてあくまで忍耐刻苦して目的の貫徹を期するのである、故に支那人の中にはどうしても信用の置けない人間も多いがまた取引等に於て甚だ堅い大商人も少くないのである、何にしても金の儲かる所には如何なる苦しみにも耐へてよく勤めるといふのが支那人

の特質である、これ等の事に關する實例は世にありふれて誰も知ることであるが僕等が旅行中に見たり聞いたりした事柄だけでも決して少くはない今其一つ二つを挙げよう、大きい方ではあの革命戦だ、革命と言へば其名目は如何にも花々しく支那民族覺醒の聲を聞くようであるが其の實二三の士——それも腹の底はどうか解らぬ——を除けば丸では是れ利慾の輩の暴動である、銃劔や衆力を以て強奪を試みようといふのが彼の革命の動機の一半であるらしい、これに對する他の一方の者も矢張り同じ事だ「あちらで砲火を交へて居るかと思ふところらでは富豪の家を破つて寶物を曳き出して居るといつた風で恰度滑稽な芝居でも見て居るようだ」とは南京領事館員の話であつた、また第二革命の際南軍の敗を取つたのは砲の響の威嚇よりも財布のチャラン／＼の魅力が北軍に比して遙かに劣つて居たからだとは南京住支那人の實話である。

支那三千年の歴史を見れば随分偉い人物も出て居る、併し彼等が率ひる萬衆は皆利の爲めに動くといふ輩であるからしてこれに啗はすに少ない利を以てすれば忽ち背を向けるといふ有様だ、で彼等史上の偉人物の生涯には波瀾が非常に多く光明の後には必ず暗鬱の影の添ふのを見るのである。これ等の事は我々には只觀察見聞によつて痛切に感じたきでこのことで直接關係のあつたことではないが我々が旅行中尤も五月蠅く感じたのは車夫馬丁共の賃錢をねだる事であつた、初めに七錢の約束をして置きながら八錢やつても九錢やつても満足しない、おしまひに横面の一つもはり飛ばされてそれで不精々々に歸るといふ風である、大連で馬車を驅つた時であつた、僕等は規定に従つて五錢宛を拂つたが受け取らない、六錢やつても受け取らない、七錢出してても愚圖々々言つて居る、其の中に巡査がやつて來た一喝を喰はした。そして最初の五錢を投げ與へるとそれで満足して歸つ

たといふような事があつたこんな事は支那の地方を旅行するものには到る所に出くはす事であるか彼等の金銭に對する執着心は此の間に十分認めることが出来る、しかし一人一日三錢あれば足りるといふ下層民には僅か一錢二錢をねだつても直ぐ生計上に影響を及ぼすのであるからしてかく五月蠅く附きまとふのも無理ならぬ所があるのである。

#### 四 兩 替

上海南京では貨幣制度の複雑と賈造貨幣の爲めに大に心配したが其の實會計の最も都合よく行つたのは却つてこの地方であつた、それは兩替といふことによつて金が大に増加したからである、金がふへると言つては稍あかしいが我一圓紙幣を弗に換へると一弗十六仙餘になり更にこれを銅貨に改めると一弗六十仙にもなるのである。初め豫定を立てた時には一弗を一圓と見積つて置いた爲めに南清地方の費用が多かつただけそれ

だけ差額も大きくなつて會計の進行には最も都合だつたのである、其の實例は表によつて比較對照してもつたから大體解るだらうと思ふ。尤もこの兩替は時の相場によつて大に變動のあることだから此の地方に旅行するものは先づこれ等の關係を其の時々の報告によつて明にして置くことが非常に大切だと思ふ、我一圓紙幣はいつも一弗以上とは限つて居ない時々一弗以下に落ちる場合もあるそうである。

(終り)

## 附 錄

### 一 殖民地教育と南滿洲 (講演要領筆記)

校長 幣 原 坦

殖民地の教育は種々複雑なる事情あるにより今之を大別して母國人の教育と土蕃人の教育との二に分ちて述べんとす。

#### 母 國 人 の 教 育

吾國人は己れの子孫をよく教育せんとするの熱情誠に強きものあり。他殖民地に於てはその子孫を土人と同様に勉學せしむるを多しとし母國人子弟のみの教育所を設けたるは其數少し。畢竟移住殖民地少くして屬邦殖民地の多きに職由するなるべし。我邦に最も近き比律賓島にては米國の領有以來頗る教育に力を盡せり。其の比律賓島中に本國子弟の爲のみの學校はマニラに只一あるのみ。而も他國民子弟も入學し得るなり。故に其名も混成學校と稱せらる。更に佛領印度支那を見るに印度支那は東京、安南、交趾、老撾、柬埔寨の五州よりなる大領地なるが此の中本國人子弟のみの教育をなす學校は僅に指を屈

するに足る。河内に一校。同處に女子のみのもの一校。海防に又女子のみのもの一校。交趾に主として男子の爲に設けたるもの一あるに過ぎず。英領印度にては如何。英國人は自國を愛する念熾なるより中流以上の家庭にては其子弟を多く本國に歸して教育す。是れ熱帶の空氣を非とし寒風にさらされ眞の心身鍛鍊をなさしめん爲なり。尤も中流以下にてはかゝる贅澤をなすを得ず。よりにて一千八百六十年以來母國に教育につきての注意起り今日にては其の普通教育を施す學校三百五十其の他師範學校工業學校等もあるに至れり。是等の爲に時に視學官の設もありされども此の廣き印度の國に土人の爲の小學校十萬中等教育の場所三千カレッツデ二百の多數に比すれば本國人の爲の學校は九牛の一毛といふべきなり。又英國の王領殖民地たる香港は首府ビクトリアに於ける英國民一萬以上なるに母國の子供の男子のみの學校一、女子のみのもの一あるのみ。他は皆支那人と共學なり。かく母國子弟の爲の學校は比較的少く土蕃人と共に教育するが一般なり。此の記録を破り和蘭人は珍らしき經驗を有せり。蘭領東印度にありては母國・子弟の爲の學校設立が抑教育の端緒なり。更に蘭領に於ては中等教育を了へたる者に土人を支配する爲の教育を施す。是れ實に參考となるべきものなり。先年比律賓島學務局長バロス博士が蘭領東印度を視察し本國に報告して曰く『和蘭人が確實なる歐洲教育を施され其の領土支配の爲の教育を受け居れるは準備なくして比律賓に赴く米國人とは大いに異なり』と。我が日本人に於ては未だそれまでには至らざれども其の子にはせめて立派なる教育をうけさせたいといふ親の愛は誠に他國民に優りたるものあり。滿鐵が高き俸給を拂ひて日本人を引き寄せんとするに猶ほ容易に落ちつかしむる能はず。學校を建

つるに及んで始めて安住せしむるを得たりといふは誠に面白きことなり。病院と學校とは日本人は到處に背負ひて行くなり。而して滿洲の教育は殆んど母國人の教育なるが是れ滿鐵沿線が主として移住殖民地なるによる。然れども本邦人の教育に熱心なるが最大原因たるなり。南滿洲鐵道會社は兒童の就學に及ぶ限りの便宜を興へり。學齡兒童にして就學せざるもの一人もなく歩合實に百分の百なり。大連より長春に至る四百哩の間三十哩間に一つの小學校あり。安奉線に至りても四十哩に一校あり。此小學校の兒童を通學せしむる爲には都合つかざる時には特別列車を出す。又列車の停車せざる處に住める子弟の爲に一分間停車を実施せしめつゝあり。父母は子供を連れ來り之を列車に頼む。退校の際は亦之を受取る。なほ長春の如き邊鄙にては遠方の兒童の爲に寄宿舎あり。一學級兒童の數は四十人を越ゆべからざるの定めにして内地の約半數なれば個別の教授行き届き得る様になれり。又校舎は壁を厚くして防寒の設備至れるなど別館展覽會に掲げらるる寫眞の如し。小學校經費兒童一人別内地市町村にては六七圓なるに南滿にては四十圓なり。特別施設としては尋常五年以上に外國語として英語或は支那語を課す。其の理由は説明する迄もあらざるべし。多くの支那人を合併して教授するは經驗上良結果を奏せず。他の殖民地に於ては土人の子供にして不潔ならず文明的習慣を破らざる限り共に教育するを常とす。滿洲にても之を實行すれども唯支那人を多く入れて教育する時支那人は概して年長にして且つ多數を恃みて日本の子供を壓抑すといふ。故に滿洲に於ては在學生徒の一割を限度として支那人を容るることになし居れり。滿鐵沿線は未だ邦人の充分落ち著くまでに至らず又父兄は滿鐵社員大多數なるを以て父兄の轉

任等の爲半途退學者多し。然れども是等邦人は氣候にうち克ち國民の發展を甚大ならしむるに注意を怠らず。故に夏は水泳冬はスケーティング盛に行はれ又柔道剣道を小學校にも課するもの多し。運動會は老若男女共に熱心なり又本國々情を教ふるに力を盡す。雖人形棟上げ等本邦固有の風俗に對する説明をなすが如き又夏期休暇には旅行を催し二重橋を拜し伊勢大廟に參詣せしむるが如き皆然らざるはなし。兎に角本國の教育に劣らず。教育の便を開くには寧ろ本國以上に面白き經驗をなせるを見る。

### 土著人の教育

土著人の教育につきては諸殖民地に於て種々の問題起れり。悉くはこゝに述ぶるを得ざれとも其の著しきもの三あり。

(一)土著人の教育に重きをおく主義と重きをおかざる主義。前者の例は比律賓にして米國は領有以來教育に頗る重きをおけり。初めより小學に著手し中等教育より専門學校をも起せり。近頃餘儀なくせらたると雖も大學をも起せり。マニラに於ては斯くの如く盛なれども地方に於ては未ださほどにもあらず。是れ著手以來漸く十年にして日未だ淺きにもよるならん。土人教育に重きをおかざるが如くにして起れるは蘭領東印度にして初めは和蘭語を禁ぜし程なり。然るに殖民地經營の進むに従ひ土人を下級官吏に用ひざるべからざるに至り夫れには多少の教育を要するより其の教育をはじめたり。教育すれば俊秀なる者もありて間にあふ。されども之等を郡長村長などに用ふれば具合よろしからず。即ち門閥の卑しき者には土人其の命に従はず。此結果一方法を考へ元の土豪の子弟を集め教育すること起る。是

れ土人官吏養成學校なり。(學校教育第一卷第二冊口繪參照)斯くして諸方面に教育勃興し來りて今日の結果は教育に重きをおける米國の比律賓を凌駕せる程なり。佛英は兩主義の中間にありと曰はばいふべし。英領印度にては大學教育より始めたり。著手以來今日に至るまで百年に及べども上より手を初めたるを以て小學は未だ行き届かず不整頓なり。然るに大學教育の結果を見新なる英國殖民地に於ては其の趣を變ぜり。即ち馬來半島亞弗利加等にては大學より手を著けず小學より徐ろに歩を進むるなり。マレ<sup>イ</sup>總督スウエッテンハムは其の著「英領馬來」に説いて云へらく、「漫然無方針にて教育をなして將來子弟の實際生活に不適當ならしむる愚を學ばず、子供に一知半解の知識を與へ彼等の生活を今日より幸福にするの助けとならざる無駄骨折りをなさず、今日馬來人を學校に招致するの價値は整頓、正直、服従の三習慣を養成するにあり」と。亞弗利加蘇丹の教育總長カレ<sup>イ</sup>は地方長官への訓令に「土人教育の一般目的は子供をして其の社會の一員として一層實用に適する者たらしむるにあり、新社會を作らしむるの準備をなすにあらず」といへり。總じて土人教育は無理をなさず、木に竹を接ぐが如きことをなさざる方針に各國の經驗は纏まりつつありと認めて可なり。

我滿洲租借地及び鐵道附屬地中には支那人も多きを以て之に教育を與へざるべからず。即ち我國は費を惜まず特に公學堂を設く。其の要旨は實學を授け兼ねて日本語を教ふるにあり。數は少けれども所要の經費は多額にして一人四十五圓に當る然るに幸に支那人子弟は半途退學者少し。日本小學校一學級生徒數四十人なるが支那人は五十人を以て定員となす。通學の便宜、授業料免除等も日本小學校と同じ。

なほ彼等は日本小學校にも入學し得。又特に日本語を習はんとするものには日語學堂あり。民國立としては日本人に支那語支那人に日本語を教ふるものに奉天外國語學校、吉林に中日學校等あり。南滿にては土著人の教育にも大いに顧慮する所あるなり。

(二)同化主義か適地主義か。同化主義は殖民地子弟を母國人と同じ様にならしむるといふ譯なれば各國の最も喜びたる所なり。朝鮮併合の際にも亦盛に唱へられたるなり。然れども實際より歸納すれば人情異なる處に於て母國と同様のことを強ふるは不可能なること世に知らるるに至れり。文明國に可なる者も半開國には却つて害あることあり。文明國に咲く花を殖民地に移し植うるとも必しも良果は得られざるなり。佛は非常に此主義に醉へり。チュニスに巴里の延長なりと誇られ又印度支那の東京、交趾に於ても佛の教育其のものを移しはじめたり。然るに其の後經驗の結果今日にては稍其主義を一變し漢學を尊重し土人の道德に激變を與へざるに留意す。最近に至りて印度支那に於ける教育は佛と安南とを調和せるものとなりたり。數年前余が彼の地に滯在中クロボウスキ總督が地方長官會議に於ける演說中「土人の感情と懸隔せざる教育方針を執らざるべからず」と力説せり。英も海峽殖民地及び亞弗利加にては妄りに大學を起さず。之も本國と一樣にゆかさる事を悟れるなり。即ち大勢適地主義に傾きつあるを知るべし。

之れに關して起る問題は土語教育か母國語教育か之れなり。百年前マコーレー印度殖民官たりし當時大なる議論となりしことありたり。即ち印度教育主義によるべきか英語教育主義によるべきかの論な

り。マコーレーは絢爛たる美文を以て覺書を出だせり。極力東洋文明を罵倒し是非英語教育をなさざるべからずと論破せり。夫れより印度の高等教育は起れるなり。今日其の結果思ひしよりも面白からず。是に於てサンスクリットの大學も又保護せられたり。米國は比律賓にて盛に教育に力を致せるが悉く母語教育なり。小學一年より英語を強制す。其の教の教授法は例へば甲の兒童は店主となり乙の兒童は買客となり對話により賣買の稽古をなすが如き有様にて實際により其の話し具合はなか／＼巧みなり。今後五年十年を経ば英語の範圍著しく廣まるべき事疑ひなし。何故にかく英語を強制するか。比島に於ては三百年來西班牙語行はれたり。之れに對抗して之れを撲滅せんと力むるは其の最大理由なるべし。佛は印度支那に於て稍佛語教育より手を引き漢學安南語を混ざるに至れり。和蘭領にてはもと反對に母國語を禁ぜしが今日は學校にて之を教ふ。かくて今や各國殆んど甲乙なきに至れり。要するに無理を避くる事が第一にして初め土語を以て教育し漸次母國語を交へ遂に母國語のみに至るといふ有様は世界殖民地の大勢なり。我が滿洲にても敢て無理をせず。邦人の設立に係る支那人の學校をも公學堂といふ。その二教科目として日本語あるなり。讀本は支那人に適する様特に編纂されたるあり。無理なる同化主義を押しつくるにはあらず。全く文明を有せざる野蠻人を相手にするならば母國文明をそのまゝ入るる事を得れども嘗て文明を有せる國民には其の國民の輿望に反する文明は容易に入るゝ能はざるなり。

(三)文學教育か技能教育か。久しき問題なり。前者を主として實行せる最も顯著なる標本は印度の大學教育にして五大學に分屬するカレッジ百七十六、其の内文科の數百六十二あれば、一言にして言へば



印度の教育は文科大學教育なり。其の結果は如何。多年の經驗に顧みれば空想徒らに高くなり衣食住の程度は進まず。よりに不穩の傾向あり。チャールの『印度人の不安』は事實なり。最近數千の印度兵が歐洲戰爭に出でたるは奇なり。英國を愛する心あるならば文學教育必しも失望するに及ばず。されども印度には多くの遊民あり。是等が募集に應じて申し譯けに出でたるにあらざるか。さて又技能教育を主とせる地方は比律賓なり比島は殆んど手工萬能なり。十年間の經驗によるに歐米婦人の帽子に用ふる竹細工はもと瓜哇より主として輸出せられたるが今日は追々比島に移れり。かくて島民には務めて自由を與ふるに拘はらずなほ獨立自由を唱ふるは又奇なる現象なり。此の二教育の優劣に就いてランチの『殖民政治』の所論は頗る有益なり。『文學教育は半可通の土人をして自負と虚榮との虜とならしむ。其の危険は彼等をして得らるべからざる希望と名譽心とを起さしむ。其の名譽心とは高尚なるものにあらず。書記又は下級官吏たらんとする望みなり。然るにこの職業には限りあれば多數の無職者を生じ無賴漢を生ず。是れ眞に注意せざるべからざる危険とす。』

滿洲の公學堂にては手工に可なり力を致せども特別に重んずるに非ず。日本小學校の課程に準ぜざるなり。支那本國に於ても手工を課せり。支那人は柔順にして印度人比律賓人に比すれば自由獨立にあてがれざる様子なり。公學堂初等科を了へ更に勉強の志あるものは人材教育として途の開かれたる高等科に入るを得。中學校や醫學堂にも入る。旅順には高等の實業教育を施す工科學堂あり。その他營口居留民團立に實業學堂ありて支那人に商業を教ふ。農業に至りては未だ勉學の道開けず。頗る恨みとすべし。青

島高等學堂にも既に農林學科ある程故滿洲にもその設立の要を見る。大豆の産額年に一千萬石に及び之が輸送は南滿鐵道の生命にして農業が滿洲に如何に重大なる地位を占むるかを知るべし。鐵嶺以北は亞麻にも適す。亞麻製作品の日本への輸入年額三百萬圓なるが滿洲に於て其の栽培に成功せばこの輸入は驅逐し得べし。南部に盛に栽培せらるる高粱を水田に變ふれば収入に於て又五割を増し得。吾人の食料たる米は年々不足し爲に西貢蘭貢等より供給を仰ぐ。南滿に米を産せば誠に都合よきことなり。衣服の原料たる棉は日本には出來ざる様になれり。今日は印度の孟買より買ひ入るる事なるが棉は天津方面にもよく成育す。朝鮮に棉を産することは大いに我國の助となれることなり。又南滿は果物に適す僅かの人工を施すにより良果を得。日露戰爭當時居残れる一上等兵が海城に落ち著き僅かに數千圓の資本を以て農を始めたが今日は年々數萬圓の收入を得つつありといふ。南滿に於て農業の見込あることを推察し得べし。故にさしあたり産業の改良に充分力を入れざる可からず。

滿鐵沿線に於て實業教育に重きを置くべきこと明なるが支那本國にも北京に確固たる基礎の學校を持ち度きものなり。米國は先年北京政府より損害賠償金を免除して其金を以て北京に大學校を建てしめ獨逸は又青島に高堂學堂を建てたり。日本も亦北京に確固たる一學校を建つるの要なしとせず。何は兎もあれ南滿における過去の教育は好良に進行し來れり。將來世界の氣勢に鑑み改良に努めば成功疑なからん。更に思ひ起すは今回戰のありし青島なり。今後この校門の外幾萬の市民が戰捷祝賀に熱狂せる間に吾人は徐に思を天の一方に馳せて青島の教育の將來に熟慮せざるべからず。

## 二 殖民地教育展覽會概況

本校教育研究會大會は、大正三年十二月五日より九日に至る五日間に亘り、將來教育博物館たるべき本校臨接地舊土木監督署を展覽場に充當して、明治聖代に於て進展開拓せる新領土、及殖民地教育を主とせる展覽會並に同月五・六兩夕本校講堂に於て、名士を招聘して講演會を開催し、廣く教育に志ある者と共に其利益を分つを得たり。

展覽場は階下六室階上七室より成れる建築にして、階下の二室を事務室及休憩室に階上の一室も亦休憩室に充て、他の十室を第一室參考、第二室樺太、第三・四室臺灣(以上階下)第五・六・七室朝鮮、第九・十室南滿洲(以上階上)の諸部に配當し、夫々新領土並殖民地に關係ある材料を陳列し、階上の中央なる第八室には、特に桃山御陵中心展望模型を安置し、宮崎宮伏敵門勅額模本を壁間に掲げ、併せて乃木將軍の鑄像を配し、以て皇國發展の源泉たる皇室の御陵威と先人の忠勇にして雄大なる氣宇の一般とを、窺知せしむるの資に供せり。

該展覽に關しては、本會通常會員が課程の餘暇を以て十二月二日に陳列を開始し、同月四日に終了せしめしことなれば、不備の點尠少なざりしと雖も、而かも出陳點數は當初の豫期に反し豊富なるを得て、陳列に狹隘を告げ、廊下の壁間を利用するに至りしは本會の快とする所なり。

若し夫れ材料の蒐集方法に至りては左の如し。

- 一、大正博覽會より寄贈を受けたるもの
- 二、臺灣及樺太の部に於ける生徒兒童の成績品
- 三、朝鮮各學校より寄贈を受けたるもの
- 四、生徒兒童成績品、學事統計、其他の書類
- 五、幣原校長南滿洲視察の際齎らせるもの
- 六、南滿洲各學校生徒兒童成績品、教育實況寫眞、學事統計、教授訓練關係書類等
- 七、廣島市内商店會社等より出品せるもの
- 八、廣島地方特産移輸出品類
- 九、本校地理歴史・博物教室備付のもの
- 十、參考標品、寫眞、繪端書等
- 十一、附屬小學校より出陳せるもの
- 十二、内外學用品時局に關係ある理科用品等
- 十三、本校各學年生徒の製作せるもの
- 十四、統計並圖表等
- 十五、教育參考室より選出せるもの
- 十六、海外教育に關する寫眞等

九、卒業生其他より貸附せられたるもの  
繪端書類教科書等

十、本校第三學年生徒が夏季歸省の際各自の府縣より持ち來れるもの  
參考輸出品類

而して開會初日の講演會に於て、本會特別會員幣原校長のなせる「殖民地教育と南滿洲」なる講演は、該展覽會と表裏の關係あるものなるを以て、該展覽會に一層の感興を惹起せしめしものなるを信ず。  
開會期間は、青島攻略凱旋軍隊の歡迎祝賀の時期に會せると、陳列に於て秩序系統の充分ならざるものあるとに係らず、約六千の觀覽者を得て其の注意を惹き新領土及殖民地教育の一斑を窺ふを得しめたり。

最後に觀覽者統計を示せば左の如し。

|                    |        |
|--------------------|--------|
| 五日(午後一時開場同四時三十分閉場) | 五一四名   |
| 六日(午前八時開場午後四時閉場)   | 三四二名   |
| 七日(同)              | 一、五〇六名 |
| 八日(同)              | 一、四七八名 |
| 九日(同)              | 二、〇九五名 |
| 累計                 | 五、九三五名 |

以下參考の爲め展覽品目録及成績概評を順次記載することとせり、但し成績概評は本校各教科目研究會に於て、箇々の見地より批評を試みたるものを摘録したるに過ぎざれば、勿論系統秩序等に於て完整せるものにはあらず。

### 展覽品目録

#### ○參考の部 第一室

- 一、時局に關するもの
  - 主要輸出品 二〇點
  - 内外學用品比較陳列 一〇〇點
  - 輸入理科關係品 七〇點
  - 統計表 二〇枚
  - 附屬小學校時局關係調查書類 一五點
- 二、外國殖民地教育に關するもの
  - 統計並圖表 六枚
  - 繪端書(アルバム) 六帖
  - 寫眞 九枚
  - 兒童成績品 五幅
  - 書方 五幅
  - 綴方 一幅
- 附錄 殖民地教育展覽會概況

#### ○樺太の部 第二室

- 一、學事統計並圖表 一〇枚
- 二、寫眞
  - 手工 六幅
  - 住民に關するもの 一八枚
  - 建築に關するもの 二八枚
  - 國境に關するもの 九枚
  - 學校に關するもの 一三枚
  - 雪景 二四枚
  - 漁業に關するもの 一七枚
- 三、兒童成績品
  - 土人教育所 二幅
  - 書方・圖繪 二幅
  - 内地人小學校 二幅
  - 書方・圖畫 二三幅
  - 手工・裁縫 二〇點
- 臺灣の部 第三・四室 二一九

一、學事統計並圖表

二八枚

二、生徒兒童成績品

- 國語學 八點
- 字 一二點
- 作文 八點
- 圖畫 二點
- 手工(紙細工) 三點
- 手工(木・金工) 七點
- 習字 七點
- 作文 一三點
- 圖畫 一三點
- 英語字 一〇點
- 手工(木・金工) 七點
- 總督府高等女學校 一三點
- 習字 八點
- 裁縫 五點
- 手藝 二點
- 小學校 二點

三、教科用書

三三點

四、校務用諸帳簿樣式

四七冊

五、參考標本並寫真等

五〇點

- 綴方 一五點
- 圖畫 二二點
- 手工(紙細工) 一二點
- 裁縫 一〇點
- 手藝 四點
- 公學校並蕃人公學校 三〇四點
- 綴方 二七二點
- 圖畫 一三六點
- 手工 一三三點
- 紙細工 二〇四點
- 竹細工 一八一點
- 藤細工 三二點
- 莫、葵、草細工 一〇點
- 裁縫(編物、刺繡、袋物等) 一二點
- 手藝(編物、刺繡、袋物等) 三三點
- 參考標本 九六點
- 繪圖書及寫真 一〇五點

臺灣植物調查報告書

一部二冊

一、學事統計並圖表

一八枚

二、學校生徒兒童成績品

- 釜山中學校 一二點
- 習字 二〇點
- 作文 一二點
- 圖畫 八點
- 英語字 二點
- 地圖 六四點外一綴
- 習字 五綴
- 作文 二綴
- 圖畫 一綴
- 其他 一五點
- 手工 八點
- 木・金工 九點
- 紙・竹細工 二點
- 藥・萩細工等 二點
- 京城女子高等普通學校 二點
- 習字 二點
- 附錄 殖民地教育展覽會概況 二點

作文

三點

圖畫

六點

裁縫・手藝

三點

平壤高等普通學校

八點

習字

八點

作文

二六點

圖畫

九〇點

實業學校生徒

六三點

習字

四點

作文

二一點

圖畫

二二點

木浦公立簡易商業學校

二八點

習字

一五八點

作文

一二五點

圖畫

一四一點

小學校

一四一點

書方

一四一點

綴方

一四一點

圖畫

一四一點

普通學校

一四一點

大陸修學旅行記

二二二

- 書方 二四五點
- 綴方 一九〇點
- 圖畫 二六五點外一級
- 手工(紙・蒙細工) 一〇點
- 裁縫 二點
- 其他
- 日誌 一一冊
- 算術練習帖 二九冊
- 夏期練習帖 八冊
- 日語練習帖 一二冊
- 書取帖 二冊
- 圖畫練習帖 一一冊
- 雜誌帖 五冊
- 三、教授訓練に關する施設研究 二四冊
- 四、校務用諸帳簿様式 三八點
- 五、參考標本並寫眞
  - 參考標本 五八點
  - 寫眞 三二點
- 六、廣島地方特産移出品等
  - 移出統計表 三枚
  - 移出品 九三點

- 別室
- 桃山御陵中心展望模型
- 伏敵門勅額模本
- 乃木將軍銅像
- 南滿洲の部 第九・十室
- 一、廣島地方特産移・輸出品等
  - 移輸出統計表 四枚
  - 移輸出品 六五點
- 二、學事統計並圖表 二五枚
- 三、教授訓練に關する施設研究 二二點
- 四、教育實況寫眞 三六枚
- 五、學校生徒兒童成績品
  - 小學校 一二二點外四級
  - 書方 七六點外一九級
  - 綴方 九六點
  - 圖畫 九點
  - 手工 一四點
  - 粘土細工 一三點
  - 紙細工 一三點
  - 木工 五點
  - 金工 五點

- 造化其他 三點
- 其他
- 算術練習帖 一九冊
- 讀方練習帖 二冊
- 地理歴史學習帖 四冊
- 冬休課題帖 五冊
- 雜誌帖 二冊
- 公學校

- 習字 二二點
- 作文 三七點
- 圖畫 二三點
- 手工(木、金工) 四點
- 六、參考標本・繪端書等
  - 參考標本 四九點
  - 繪端書 三五點
  - 其他 七點

成績概評

第一 總評

圖畫科

新領土並に殖民地に於ける圖畫科成績の傾向を察するに、一般に臨畫に偏し、特に其の地方特有の教材につき工夫して教授せる成績の甚だ僅少なるを惜む。只比較的南滿洲に於て寫生に努め、其他諸種的方式を試み、他地方の成績に比し優劣の差甚しからざりしは稍注意を惹けるも、概して殖民地に於ける圖畫教授は尙ほ研究の餘地多きを認む。

師範學校に相當する教員養成を主とせる學校の圖畫科は、他の中等學校等の夫れと異なり、單に美的趣味を養ひ或は寫生の技倆を得しむるに止まらず、其の職務を全うする上に必要なる活用力を練るの要大なるを認む。然るに此等に對する成績の出品無かりしは甚だ遺憾とする所なり。

手工科

圖畫科に比し出品成績貧弱にして、一般に實用的ならざる傾向あり。就中臺灣・朝鮮の一部を除く外は土地の材料を利用せる製作品少く、尙ほ土地に適切なる作品の選擇に注意を缺けるの感あり。特に土着人に對する手工に就きては各地共に工夫の餘地頗る多きを認む。

是等に對しては各地に於て特種の事情の存すべきあらんも、須く先づ其の地方的職業或は將來獎勵すべき實業等に鑑み、是が教材等を調査するの要あるべし。

是等の點に關して調査せる書類等の出品を見るを得ざりしを遺憾とす。

### 裁縫科

出品成績極めて少く、其の出品を通覽するに、内地のものと同様に於て、只臺灣公學校成績の一部を除く外は、土着人に對する裁縫科の成績を窺ふを得ざりき。

### 圖書、手工、裁縫科に關する所感

一、殖民地に於ける内地人をして、幼少の時より獨立獨行の精神を作興し、經營的才能の基礎を養ひ、特に創作工夫の心力を陶冶せしむることは尤も必要にして、圖書科手工科の加設は是が方便として頗る有力なるものなり。然るに成績品一般を通じて斯かる氣分を窺ひ得るもの少く只徒に内地に模せるやの觀あるは、兩科の性質上大に注意すべきことなり。

殊に土人に對する教育上に於て、前途研究の餘地頗る大なるべく、圖書手工裁縫科何れも尙ほ一層實用に着眼し、平素の生活狀態並に其の職業と密接に交渉あらしむることは、甚だ必要のことなるべし。

二、技能科成績の良否は主として直接事に當る教師その人の技術如何に關す。今各地の成績を通覽するに、序上の感を一層適切ならしむるものあり。各地共良教師の補充及び教師の實力補習に關して適當なる方法を講じ、以て此の缺陷を補ふに努力せんことを窺む。

三、各地の天然的材料を調査し、職業の狀況及び實業等の將來を察し、土地に適切なる方案を工夫することは最も必要なることに於て、斯かる點に關し各地共尙ほ研究の餘地あるもの如し。

四、其他寫生畫及び工作圖等に尙ほ一層力を用ふること、圖案と製作品との關係を密接ならしむること等は、特に將來注意すべき點なるべし。

### 書方科

内地人子弟の成績と、臺灣人・朝鮮人・滿洲人の成績とを比較すれば、後者の書風穩健にして一異彩あるに對し、前者は活氣に滿つれど

も何となく遜色あるを認む。

### 體育方面

一、新領土及び殖民地に於ける土着人の姿勢を寫眞繪畫等につきて見るに、概ね頭を前に垂れ、胸を狭め、着眼正しからず、甚だ意氣の揚らざるものあり。體操科授業等に於て殊に此等の矯正に努力するの要あるを認む。

二、新領土並に殖民地に於ける内地人の教育に於ては、體操科に留意せられあるならんも、土着人の教育に於ては、課程表並に寫眞等に見るも充分ならざる感なき能はず。

三、身體の發達を調査せる諸表を見るに、内地に於ける生徒兒童の身體の發達と比較せず、且つ年齢を附記せざるものもあり。此等の研究に對して科學的正確を希望せざるを得ず。

## 第二各評

### 樺太の部

### 綴方科

- 一、低學年に於ては一般に思想貧弱なる感あり。
- 二、高學年に於ては文の趣旨不明にして、美辭秀句及新造語を弄する傾あり。
- 三、思想が兒童の自然的眞情より發露せずして大人びたるものあり。

### 書方科

- 一、小學兒童成績は内地に於ける兒童成績と大差なく一般に佳良なり。
- 二、余子舞土人教育所の成績は充分とは云ひ難きも土人としては寧ろ進歩の方ならん。但し教材は内地人の子弟と程度を異にし、特種の選擇排列によりて課するを適當とすべし。

### 圖書・手工料

- 一、圖書手工兩科とも施設日尙ほ淺く、手工教材は内地と略々同様のものを授け、圖書は高學年に於て僅に寫生を課せるも、一般に臨

- 書に傾き地方的教材を斟酌加味せるものなく、日誌等に圖畫を利用せるものあるも尙ほ不充分なり。
- 二、手工科に於ては地方的材料に注意し、實業と關聯せしめて授くるの要多きを認む。
  - 三、他地方と異なり、交通の便少く移住民亦少きことなれば、事情止むを得ざる點あらんも、兩科共研究の餘地少からざるべし。

### 臺灣の部

#### 公學校用國民讀本

大體國定教科書に準據して編纂せられあるが如きも新領土の國民讀本としては適切なりと謂ふ可く、其の特色と認むべき點を擧ぐれば左の如し。

- 一、忠君愛國の思想を養成するに努めたること。
  - 二、母國の山川・風光・人情・風俗を紹介するに努めたること。
  - 三、地方的教材を選択するに意を用ゐたること。
  - 四、季節に適するやうに教材を排列したること。
  - 五、口語を主として文語を客とせること。
  - 六、漢字を用ひて成るべく困難なる字音假名遣を避けたること。
  - 七、促音の表記法を容易にして學習に便ならしめたること。
- 等なるが稍如何はしく思はるゝ點を擧ぐれば左の如し。
- 一、全體を通じて程度稍高きに過ぐるの感あること。
  - 二、日常あまり使用せざる漢字の所々に散見せること。

#### 公學校用書方手本

字劃の單複に顧み漸進的に選擇排列したるは、所謂民族の知能の程度を顧慮したるものと謂ふべく、教育的意味あるを認めたり。

#### 公學校用算術教科書

教師用を見ることを得ず兒童用も僅に一部分を見たるのみに過ぎざれば、徹底したる批評を試むるを得ざるは遺憾とする所なれども、

#### 國定教科書と比較すれば 第五學年用教科書に於て

- 一、公學校のものは數學特に漢字の書方に重きを置くこと。
  - 二、加減の計算問題につきは大差なく殆ど同一のものを羅列せるも應用問題につきましては國定教科書八に對し、公學校用は加法一〇減法七加減法一〇なり。
  - 三、乗除の計算問題につきは大差なく、只順序に前後あるのみ、應用問題は國定教科書よりも遙に多し。
  - 四、度量衡及貨幣に關しては全然國定教科書と同様に於て、只各題目下に各單位の關係を表示せるを異りとす。
  - 五、諸等數の計算に關しては大差なく、只應用問題の國定教科書より多きのみ。
  - 六、地積應用問題頗る多く、國定教科書一四に對し、公學校用にありては二九なり。
  - 七、米突法と碼・封度法とを長さ目方拵目として同一の場所に出し以て練習材料を輕減せり。
  - 八、面積體積の求め方を米突法尺貫法と共に同一の場所に出せり。
  - 九、分數及歩合算は簡單なるものを出せり。
- 以上の要領及問題の内容によりて概評すれば。
- 一、國定教科書よりも應用問題を多くしたるは可なり。
  - 二、應用問題選定等に臺灣固有の事項を加へて之を地方的ならしめたるは可なり。
  - 三、米突法碼・封度法・度量衡の取扱方法及排列は可なり。
  - 四、計算の方法を例示せるものに活字體を採れるは不可なり、國定教科書の如く筆記體を採るを優れりとせん。
  - 五、分數及歩合算の取扱方は不徹底の嫌なきか。
- 第四學年用教科書に於ては
- 公學校用教科書と國定教科書とは大差なく、唯公學校用教科書は問題多く、從つて國定教科書八一頁に對して、公學校用教科書は一二一頁なりとす。

### 公學校に於ける理科教授要目

- 一、先づ人身生理衛生の主要を選擇排列し、然る後天然物及自然界の現象に及ぼせるは、實際生活の狀況に鑑み適切なりと認む。
- 二、迷信を去ることに努めたるは、自然現象を迷信視する土人教育上至當のことなりと認む。
- 三、土人が徒らに空理に走る傾向を防遏せんが爲に、實際を尊重する風習の養成に努力せるは大に可なりと認む。

### 公學校手工科

- 一、島内に豊富なる籐・竹・纖維等の如き材料を用ひ、實用を主として教授せるは適切なりと認む。製作品に於ても亦見るべきもの多し。
- 二、完全を求めれば成績品の多くは未成品の感を與へたることなりとす。若し之に染色法模様付け等を工夫し、美的裝飾を加へ、上級に進みては模型的作品に止めず、全然實用品又は賣品として製作せしめては如何。
- 三、技能の修練が土人の教育法として適當の處理なりとせば、現制度中他の教科目或は教授時数を削減し、以て技能的教科の時数を増加せしむるを要すべし。

### 公學校圖書科

- 一、寫生臨畫ともに相當の努力を認むれども、特に記すべきものなく、手工科に比して遜色あるを認む。教材の適否描寫の方法等につきて一層の研究を要す。
- 二、教授上の主義としては、賞観的・美的趣味に富める圖書よりも、實用的なる裝飾模様及圖案工作圖等に重きを置き、農・工・商等の實業に關係深き教材を選擇教授し、以て實際生活上利用し得るが如き方法を探るの要なきか。
- 三、幼年級に於ては、兒童の趣味を喚起し、描寫力を習練せしむるを主とすべきは勿論なれども、十六七歳以上の土着の青年に對し、尋常科第三、四學年程度のもを描寫せしめ居るは、聊か物足らぬ感なき能はず。

### 公學校綴方・書方科

- 一、文章極めて單調にして定義的發表多し。
- 二、個々の文章の形式は多くは單文又は平叙文なり。
- 三、文題は廣汎なるもの又は抽象的のもの多し。

四、書方成績は年齢の關係もあらんが、書風穩健なるもの多く、内地人の小學校の成績に比し一段優れるを認む。

### 小學校綴方書方科

- 一、低學年に於ては思想の貧弱なるもの尠からず。
- 二、讀本教材の記憶的發表をなせるものも尠からず。
- 三、率直にして子供らしき文章もあれども、高等科の女兒に於ては往往實感より出てざるが如きものあるを見受く。
- 四、尋常科第二學年に於て分別法を守らしめたるもあり。
- 五、書方は内地に於ける小學校兒童と大差なく、一般に佳良なり。

### 總督中學校作文科

- 一、文藝的思想の發表の妙き感あり。
- 二、漢文直譯體の文多し。
- 三、書簡文は概して成績良好なり。

### 同中學校英語科

- 一、英習字は中等の成績と見る可し。
- 二、英文文は、第一部生徒の成績に對しては出品少き爲、批評を試むること能はざれども、第二部生徒の成績は優秀なりと認む。但し往往綴字及文法上の誤謬又は發表の形式に、穩當を缺けるものあるは遺憾なり。
- 三、英語教授要目に就て見るに、第一部には第二部より年齢少き生徒入學して長期間英語を學習するに關はず、第二部に比して低學年に文法を課せるは採らざる所なり。

### 同中學校第一部物理・化學・博物科

- 一、特に諸科に通じて實際觀察に重きを置き、且つ勞働科に多大の時間を配當したるは、修身科を國民科とせると共に大に意味あるものと認む。
- 二、第一學年に自然研究を置き、又礦物科を二部に分ち、夫々化學と動植物中とに排列したるは面白し、唯其詳細を知る能はざるを憾



同中學校手工科

第一部生徒(内地人の子弟)に手工を課せることは、單に新領土に於ける實行的人物の養成上より見るも甚だ喜ぶべきことなりと認む。總督府高等女學校習字科

凡て佳良なるは感服すべし、但其筆力は行書に於ける割合よりも楷書に於て勁直の勢乏しきに似たり、然れども行書の此成績が教育の結果を語るものとせば、愈其教授の効力に感服せざるを得ず。

同高等女學校英語科

一、英習字は第二學年生の筆跡は優等の部に屬すべく、第一學年生の成績は不充分の感あり。  
二、年級・姓名・年月日等の書方形式に改良の餘地あるを認む。  
三、文字の體複雜に過ぎたるの感あり。

同高等女學校裁縫科

教授者生徒共に努力しつゝある形跡明かなるも、教材は内地と略同様にして特別の製品を見ず。

國語學校國語科

一、本島人は國語の學習上、自他の區別を牢記すること困難なるもの如し。  
二、公學師範部は公學校用國民習字帖と同様の道を進むもの如きが、用筆は頗るよきも行の排置・一字の各部の鈞合等に不自然なるものあり。  
三、第一・二部第一・二學年は鳴鶴翁の習字手本を習へるもの如きが、能く習ひたるものと覺ゆ。  
四、第一・二部第三學年は日高翁の習字手本を習へるもの如きが、用筆にのみ力を費して結體に及ぶ餘裕なきにはあらざるか。

朝鮮の部

鮮人教育諸學校に對する一般的感想

一、鮮人は習字・圖書・手工・手藝等の技能に長じ、且つ言語の發表に巧なるを認む。

二、技能科並國語科教授に對する尊重・研究・苦心の跡あるを認む。  
三、手工科並實業科の教授が、實際生活と密接に觸れ居ることを認む。  
四、訓育に意を注ぎ力を用ゐること大にして且つ親切なるを認む。  
五、中等教育は、中流鮮人將來の實際生活を目標として、切實に工夫し努力しつゝあるを認む。  
六、英語並に數學の學習に苦められざること、生徒の年齢の割合に長ぜざることとは、鮮人の中等教育が實績を擧げつつある大原因なりと認む。

普通學校綴方科

一、思想發表の形式單調なるを免れず。  
二、文章の結構が一定の型に囚はれたる傾向あり。

小學校綴方科

一、低學年に在りては讀本中の題目を探り、殆んど其儘なる反復的記述をなせるあり。

小學校並普通學校書方科

一、普通學校に在りては書風穩健にして一異彩あるを認む。  
二、小學校に在りては内地に於ける兒童成績と大差なく一般に佳良なり、但し右肩下りの傾向あるを認む。

小學校並普通學校圖書科

二、三の學校にては大に奨勵せる形跡あるも、一般に未だ盛ならず、諸學校間成績上巧拙の差異甚しきを認む。

鮮人教育諸學校手工科

一、出品中蠶細工・萩細工・木工等多様の材料を用ゐ、教材を地方化することに努力せるは頗る可なり。  
二、萩細工の如き適當の加工を施すに於ては、實用品として相當の需要あるが如く思はる斯る材料の栽培普及等に就ては更に一考の要あらん。  
三、古き歴史を有せる陶器業等に關係ある粘土細工の如きは、鮮人を實業に導く上に於て或は有効ならん。

錦山公立普通學校

朝禮式を行ひて訓育の統一を圖り、農業實習を課して勤勞の習慣を養成し、敬神の念を啓發し、地方の惡風を矯正する等、訓練に意を用ゐること深きを認む。

木浦公立普通學校

一、訓練綱領を定め、朝禮を行ひ、講堂訓話によりて國民的思想の養成に努力し諸種の作業を課して勤勞の習慣を助成し、貯金を獎勵して貯蓄の美風を養はんとする等、訓練方面に大に留意せるを認む。

二、學校新聞を調製して毎朝之を掲示し以て常識の養成に努め、商業教授用掛圖を製して商事項を直觀的に會得せしめ毎週五日間生徒夜學會なるものを校内に開設して學力の補足を圖る等教授方面にも力を注ぐこと大なるを認む。

群山公立普通學校

一、夕會を設けて放課後兒童の學習狀態を批評し、且注意を與へ、校外の取締を嚴にし、門票を設定して教師の監督訪問に便する等は當校の特色と認む。

二、常識の教授に深く留意せるを認む。

寶城公立普通學校

訓練上兒童の容儀に注意し、清潔整頓作業の方面に努力せるを認む。

長城公立普通學校

一、訓育に對する努力を認む。  
二、賞罰規定は實行上餘りに峻嚴ならざるか。

咸興公立普通學校

兒童心的狀態の調査表は、兒童心意の發達を知り、教育の基礎的條件を與ふる上に必要なを認む、但し調査標準を尙一層多方的に選定し、且つ科學的に研究せんことを望む。

京城貞洞公立普通學校

同校國語研究會調査の「普通學校に於ける國語教授法注意諸點」中には參考に資すべきもの多きを認む。

金州公立農業學校

教材の調査、實習の指導、農事改良法等の研究等諸般の教育的施設は、總て地方の實際的要求と缺陷とを出發點となし歸着點となせるを認む。

咸興公立農業學校

勸業當局者と聯絡協力して、地方農家の指導啓發に努むる等其成績顯著なるを認む。

釜山公立小學校

一、朝會を行ひて訓練等の統一を圖り、講堂訓話によりて忠君愛國の志氣を鼓舞し、學級訓練に注意を拂ひ、作業を課して勤儉力行の習慣を養成し、不時呼集を行ひて機敏沈著の氣風を養成する等訓練の方面に大に努力せるを認む。

二、學校と家庭、學校と卒業生との聯絡を圖り、以て教育作用を圓滑に遂行せんとする等努力の跡大なるを認む。

馬山公立小學校

圖書科の圖案等は優等と認む。

大邱公立小學校

一、「父兄職業と兒童成績」なる調査は教育上必要なを認む。  
但し百分比を添ふれば一層明瞭ならん。

二、圖書科の圖案等は優良と認む。

元山公立小學校

一、訓練の綱領を定め、朝會、記念講話、作業等によりて其綱領の貫徹に努力せるを認む。  
二、國民性の發揮に努力せるを認む。

京城高等普通學校

一、施設及成績の見るべきもの多し。

二、附屬學校生徒用諸練習帳は極めて質素のものにて且つ第二學年以上の生徒に手工科に於ける應用として之を製作せしめ、尙ほ下級生の分まで調製せしめ居るが如きは、甚だ喜ぶべきことと認む。

三、習字は感服の外なし。

四、國語、作文成績品には、外國語教授上の參考品として見るべきものあり、但し系統的に分類せざるは遺憾なり。

五、附屬普通學校編「發音指教圖」並「發音練習圖」は、編者の勞力を多とす可く、語學教授の際に於ける編者の苦心と研究的態度とは、充分之を認めざる可からず。

但發音練習圖の「タ行」(t音)及發音指教圖の「ラ行」(r音)の舌の形狀は稍當を失せる處あるが如し。

六、附設教員養成所の圖書科圖案等は優良なりと認む。

#### 京城女子高等普通學校

一、帳簿類形式のみに整理せるを認む。

二、習字科に就ては文字の間架結構等に工夫の餘地あるもの如し。

#### 京城公立高等女學校

生徒の誤り易き漢字及假名を、生徒の作文日誌等に就て調査し、其表を生徒に頒與して、自省矯正の用に供せるは大に喜ぶべし。

#### 平壤高等普通學校

習字は小野翁の手本なるべし、朝鮮在來の書風も一概に廢すべからざるにあらざるか。

#### 官立漢城外國語學校

一、該校編纂の「國語の發音及語法に關する調査」は外國語教授上少からざる利便を與ふるものなり、分類法も要領を得頗る實際的なり。

#### 釜山中學校

一、「生徒身體發育狀況一覽」は體育獎勵上必要なりと認む。

更に一步を進めて、内地に於ける生徒の發育と比較する所あらんには、一層の價值を添ふべし。

二、地圖の製作に關しては、多大の時間を要する如き製作を避けしむるを優れりとすべし。

# 欠

欠

大正四年三月十五日印刷  
大正四年三月二十日發行

(非賣品)

廣島高等師範學校

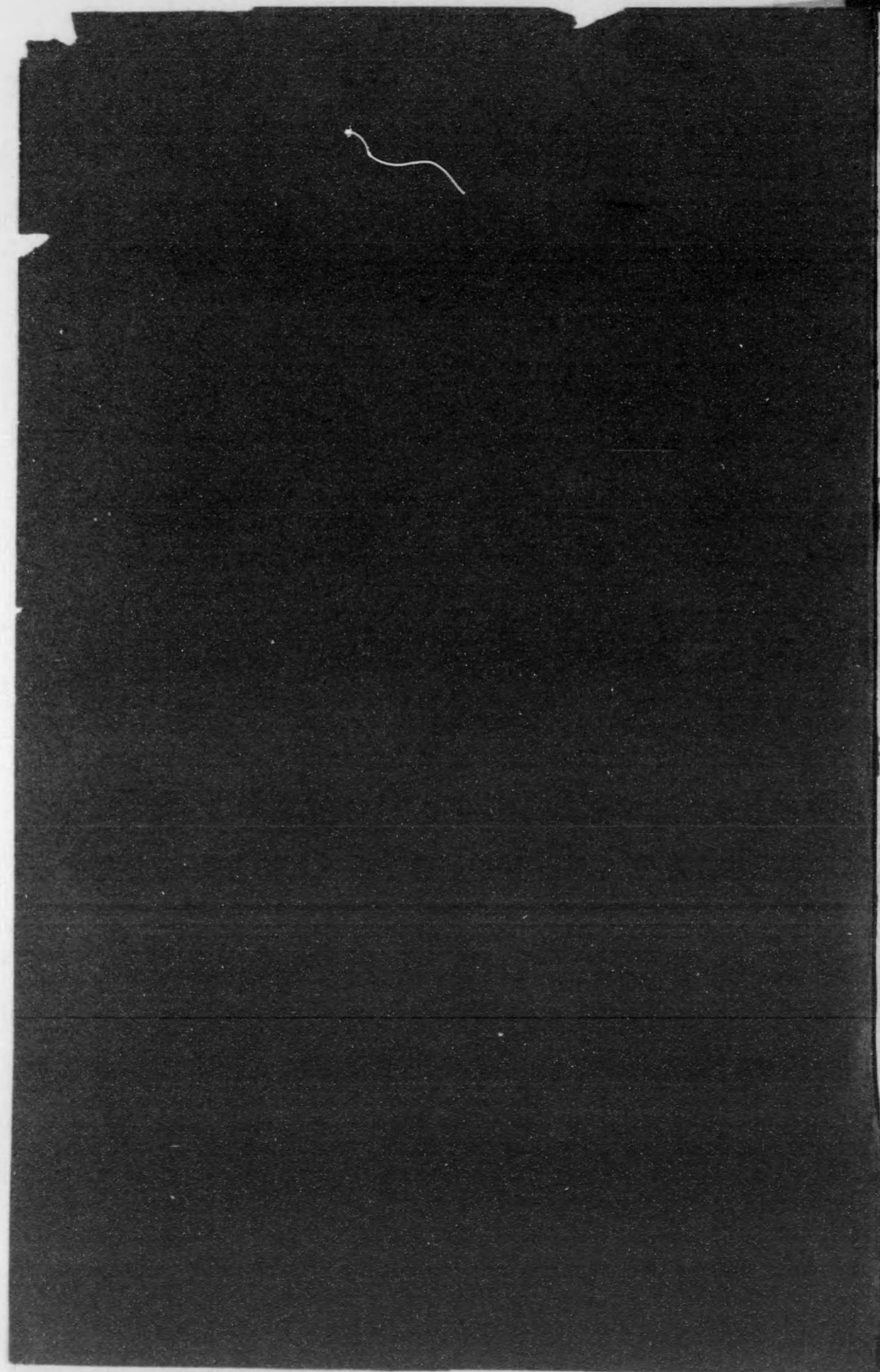
印刷人

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
仙葉元太郎

印刷所

東京市牛込區市谷加賀町一丁目十二番地  
株式會社秀英舍第一工場

327  
711



45

327  
711

終